

2021年2月8日

## 不動産投資の悩みをみんなで解決、 「楽待不動産投資相談室」2月8日に提供開始！



国内最大の不動産投資サイト「楽待」(<https://www.rakumachi.jp>)を運営する株式会社ファーストロジック(本社：東京都千代田区、東証一部上場、証券コード：6037)は、新サービス「楽待不動産投資相談室」(<https://ask.rakumachi.jp/>)を2月8日にリリースいたしました。本サービスは、不動産投資に特化したQ&Aサービスで、会員登録すればどなたでも無料で投稿が可能です。情報の非対称性が問題視される不動産業界において、楽待サイト上で自由に質問できる場を用意することで、誰もが安心して不動産投資ができる社会の実現を目指してまいります。

### ■不動産投資に特化したQ&Aサービス「楽待不動産投資相談室」とは

不動産投資に関する質問や相談ができるQ&Aサービスです。サービスの利用は完全無料で、楽待に会員登録をすれば誰でも投稿が可能になります。

経験豊富な不動産投資家や多様な専門家も登録しているため、不動産投資初心者がつまづきがちな初歩的な内容から、複数棟を所有する不動産投資家でも判断に悩むような込み入った内容まで、幅広いジャンルの相談をすることができます。

### ■7日で130件もの回答が集まる

本サービスは2021年2月1日から一部のユーザーに先行して公開しており、すでに約70件の質問が届き、回答が130件以上集まっています。先行公開の対象は、楽待不動産投資相談室のモニターを希望した楽待の登録会員約170名と自社メディア「楽待新聞」のコラムニスト、弁護士などの専門家です。

すでに利用したユーザーからは投稿フォームの使い勝手や見た目のわかりやすさなどに対する要望をいただいております。そちらは今後随時対応をおこなってまいります。

## ■サービス開発の背景

身近に不動産投資の相談ができる人がいなくても、不動産投資に関する疑問が解消できるサービスが必要だと考え、本サービスを開発しました。不動産会社に相談するだけでなく、利害関係のない専門家や不特定多数の不動産投資家からの意見を聞くことで、特定の意見に偏らず、適切な投資判断ができるようになると考えております。

## ■今後のサービス展開について

現在はPCとスマホ web から利用できますが、近日中に楽待のスマートフォンアプリでも利用できるように開発中です。また、質問への回答数やベストアンサー獲得数などのランキング機能の追加も予定しています。

より多くの専門家や不動産投資家の方々に利用していただけるよう、サービスの利便性を向上し、不動産投資に関する悩みを抱えているユーザーを力強くサポートできるようなプラットフォームを目指します。

## 【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、利用者数・掲載物件数・使いやすさNo.1(\*)の不動産投資サイトです。全国4300社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを無料で発信。公式YouTube「不動産投資の楽待 [RAKUMACHI]」はチャンネル登録者数18.3万人、総再生回数は3800万回にのぼります。(2021年2月時点)

不動産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン上で会話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。これらのコンテンツは、iOS・Androidの楽待公式アプリからもご利用いただけます。

今後も「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

## 【会社概要】

社名：株式会社ファーストロジック

URL：<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場：東証1部（証券コード：6037）

本社：東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー33階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

## 【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当：尾藤（びとう）

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6706-4730

E-mail：[rakumachi@firstlogic.co.jp](mailto:rakumachi@firstlogic.co.jp)

\* 『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2019年6月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2019年4月）

『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2020年10月）